

取組名称	資源・人・地域の循環を支えるのは高齢者！ 環・農・福 連携による「お節介プロジェクト」			団体設立後の経過年数	107年
応募取組主体名称	十字屋グループ・NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト	活動地域	岡山県真庭市	応募取組の活動年数	4年
取組主体の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 / <input type="checkbox"/> 学校 / <input checked="" type="checkbox"/> NPO・任意団体 / <input type="checkbox"/> 自治体 / <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ / <input type="checkbox"/> 個人 / <input type="checkbox"/> ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / <input type="checkbox"/> その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	<input type="checkbox"/> サステナブルデザイン賞 / <input type="checkbox"/> 子どもエンパワーメント賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境と福祉賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境地域ブランディング賞 / <input type="checkbox"/> 環境ひとつくり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境社会イノベーション賞 / <input type="checkbox"/> 地球と人への思いやり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> SDGsビジネス賞 / <input type="checkbox"/> EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨	<p>食品ロス削減や地域産野菜の付加価値アップのためにスタートした、高齢者によるカット野菜やレシピ付き調理キット「お節介野菜」の製造・販売事業です。地域の高齢者に手仕事や役割を創出し、収入だけでなく「はりあい」、「活躍の場」の創出となっています。規格外野菜の活用は、地域資源の有効利用と食品ロス削減、地域農家の所得向上、都市部での流通販売により真庭の知名度向上、地域課題の解決にもつながります。</p>
実績の要旨	<p>お節介なおばあちゃんのグループ5名から始まったプロジェクトは、地域に広がり、今では参加者が100名を超え、高齢者以外にも多世代が参加する交流の場となっています。「お節介野菜」の商品数は100種類以上開発しています。年間約19tの食品ロスの削減、地産野菜の付加価値アップ、リサイクル意識の向上、高齢者の健康増進、多世代交流、など複合的な広がり、 「地域循環共生圏」の創出に一役買っています。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	真庭市が進める生ごみ等資源化施設のバイオ液肥を地域農家さんに使用していただき、育てた野菜を加工・販売しています。
	社会・経済への貢献	働き手不足の解消、地域農家の所得向上、都市部販売による農村都市交流、事業を通じた自治体・他団体との協働を行っています。
	地域資源の活用	規格外野菜の有効活用をすることで食品ロス削減、また地域で出る生ごみをバイオ液肥にして農地還元することで資源として活用しています。
	普及・汎用性	過疎化がすすむ中山間地域における多世代交流を中心とした住民総活躍モデル、地域課題の解決策の一助としてご紹介できる事業です。
	革新・ユニーク性	食品ロスの削減、バイオ液肥による循環型農業の推進や農業振興、高齢者の活躍などを組み合わせた「環・農・福連携モデル」として、高齢者の収入、健康・福祉の増進、生きがいや活躍の場を創出しています。
	継続性	カット野菜事業は開始から5年目となりました。高齢者の社会参加による交流・つながりを創出し住み続けられるまちづくりに貢献しています。

展望の要旨	今後も市や関係者と連携し、「日本一お節介なまち」の実現を目指します。市の脱炭素施策の後押しはもちろん、さらなるリサイクルの推進、DX+高齢者支援のプロジェクト等を計画しています。
-------	---